水辺ぶら池さんぽ 第11回

下北山村の明神池（奈良県下北山村池峰）

池の「七不思議」が謎すぎる日本最強のミステリー池

摩訶不思議な池伝説、あり得ない地形や現象……そんなミステリアスな池の中でも「七不思議」を引っ提げる下北山村の明神池は別格です。

奈良時代の役行者（えんのぎょうじゃ）による壮大なスケールの大蛇退治に始まり、近世には大坂夏の陣で大坂城が炎上した際には池の水面に「浮木様（うきさま）」が現れ、七日七晩ぐるぐると動いた伝説も。実は太閤秀吉は生前、禁を破って池の御神木を伐り、大坂城の建築資材として使っていました。浮木様は池に沈んだ神木が水面に浮き上がる現象で、本来は吉事の前兆とされるだけに、まるで豊臣家の滅亡を水神が祝ったかのようで怖いものがあります。

21世紀にも浮木様の目撃談があり、衆目の前で白い大蛇や謎の水柱が目撃されたことも。また、謎の水位上昇で神社が水没した1975年の増水は専門的な調査でも原因は不明。そもそも、なぜこんなキワキワな立地に県最大の天然湖沼が生まれたのか。ミステリー満載の池なのです。

「七不思議の池」アラカルト

大瀬神池（おせがみいけ）

伊豆七不思議の一つ。あり得ない立地の霊池は釣りをすれば死ぬとの看板が立ち、学術調査も拒む。春には奇祭も。

●静岡県沼津市西浦江梨

萩の明神池

長門の国の七不思議に数えられる池。コイも泳ぐ池なのに、イシダイ、マダイ、ヒラメなど海にすむはずの高級魚の姿も。

●山口県萩市椿東

谺ヶ池（こだまがいけ）

伏見稲荷大社の七不思議の池。池で手を打つと返ってくるこだまの大きさと方角で尋ね人探しのヒントがあるという。

●京都府京都市伏見区

文・イラスト・写真
市原 千尋

Profile

全国2,600基のダムを含む日本の主要な池や湖沼11,000か所を車中泊で踏破。訪れた池の魅力を毎日ブログで発信。著書に『日本全国 池さんぽ』（三才ブックス）。

【運営ブログ】水辺遍路
https://bunbun.hatenablog.com